

## 年金引き上げ要求に共感広がる

各地で開催されているブロック交流集会でも、各県・支部の活動が報告されています。

### ◆ 19市中5市で市長・副市長と直接懇談／長野の全県 19 市キャラバン

県本部と支部が協力して、2月16日から20日まで、県労連の宣伝カーで宣伝しながら全県の19市を訪問し、要請しました。

東御市長は、市長会で積極的に発言することを約束。須坂市長も対応に努力することを表明しました。駒ヶ根市では駒ヶ根準備支部の支部長以下6人が県役員と共に参加、副市長は「年金は大切だ。できるだけ対応をしたい」と答えました。全体に理解が示されたと長野県本部は受けとめています。

### ◆ 福島・川俣町長も「もっともな要求だ」

福島県本部が首長・議長要請をはじめた直後、達南支部の申し入れに市長自らが応じて、賛意を表明しました。また、同町議会議長も趣旨に賛同しました。

### ◆ 「年金引き上げ要求、ともにたたかいたい」と夫婦そろって加入

秋田市支部は、年金引き上げ要求の宣伝行動の際にチラシに加入申込用紙をはさんで配りました。後日、そのチラシを読んだという方から連絡があり、「こういう運動なら是非一緒にやりたい」と、ご夫婦そろって加入を申し込まれました。

## すべての衆院議員に賛同署名を

### 4月1日に中央・首都圏各本部で実施（計画中）

3%、8万円要求は、4月1日からの実施を要求していますが、政府与党と民主党の党略的な国会運営で、国民の切実な生活実態に有効な対応ができない状況が続いています。そこで、事態が進展しない場合も想定し、中央本部は首都圏各都県本部と共に、衆議院議員に対して賛同署名を求める運動の準備を始めました。4月1日、12時15分からの国民大運動の国会行動に参加したあと、第1議員会館内の会議室で意思統一したあと、賛同の要請書と回答用ハガキをもって、議員室を訪問します。

行動の詳細と各県での地元事務所訪問などについては、別途連絡します。

生活危機突破・3%、8万円要求  
全日本年金者組合

# 中央闘争本部ニュース

このニュースはホームページにも載せてあります。

NO.4 / 09.3.6